日本包装専士会
ICPPJ

専士会関西委員会ミニセミナーご紹介

http://www.housou-senshikai.jp/

日本包装専士会関西委員会では、関西エリアの会員を対象に対面出席やオンライン出席可能な包装に関するセミナーや工場見学の開催など、独自の活動をしています。
関西ミニセミナーは、JR新大阪駅から徒歩7分の「大阪市立青少年センター KOKO PLAZA」にて実施しています。また、Zoomを利用したオンラインでも同時配信していますので、関西以外の方もご参加いただけます。本年度は4月21日（6月号に掲載済み）、6月30日、9月17日に開催しましたので、6月、9月開催の2回分を紹介します。

専士会関西委員会ミニセミナー
「原点に立ち返ろう包装フィルムの世界　軟包装は現代の厄介者か？」

開催日時：2026年6月30日 17:00～18:30 （於：大阪市立青少年センター）
講　　師：花市 岳 氏（包装専士） フタムラ化学(株) 中部統括グループリーダー

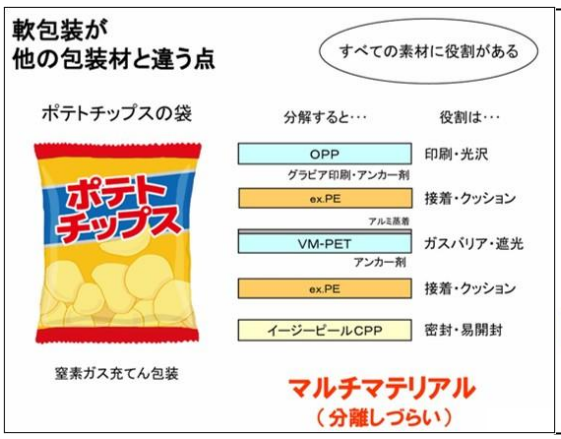
【要旨】
包装材料は今、岐路に立っています。環境か、内容物保護か、どちらを優先するのか、はたまたこれに石油危機が加わって、今や世間から厄介者扱いされる世界代表選手です。その中でも特に複雑怪奇で厄介なのがフィルム包装、すなわち軟包装です。リサイクルはしにくい、保存性には工夫がいる、破れないようにすると過剰包装といわれ、常に気を使わなくてはいけません。そこで今回はこれからの軟包装の方向性を考えていく上で包装フィルムの世界を一から振り返りました。知っているようで知らないこともあると思いますので、軟包装を自分の言葉で誤解のないよう、自信をもって他人に話せるように理解が深まる講演内容にできたと思っております。

専士会関西委員会ミニセミナー
「軟包装におけるコンバーティングの基礎知識」

開催日時：2026年9月17日　17:00～18:30 （於：大阪市立青少年センター）
講　　師：平川真一氏（包装専士）　岡田紙業(株)営業技術グループ次長

【要旨】
食品や医薬品等で一般的に使用される軟包装フィルムにおいて、各フィルム素材の特徴やフィルムを製造する上でのコンバーティング（印刷方法、ラミネート方法の種類など）の基礎的な内容について詳細に解説、説明しました。

【6月30日資料】



【9月17日資料】

